

目指せ！メダカと水辺の生き物博士コンテスト2015

審査結果発表!!



せんごく
全国からたくさんの応募をいただきました。
みなさん、本当にありがとうございました！

それでは、審査で選ばれた受賞作品を発表します。
受賞した人も、できなかった人も、来年またチャレンジしてくださいね！



さくひん
どの作品も
とてもスバラシ
カッタヨ！

協力 子供の科学

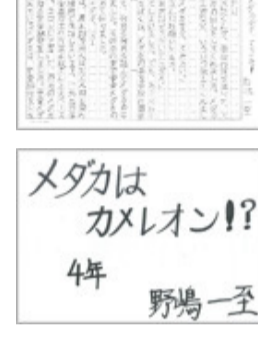
たくさんのご応募ありがとうございました！

メダカ博士コンテストの受賞おめでとうございます!!

研究発表 ※当選の発表は11月10日(火)発売の『科学雑誌 子供の科学12月号』にも掲載されます。

大賞


キョーリン大賞
「宇宙メダカがやってきた！」
>>資料と写真はこちら
「メダカはカメレオン!？」
野嶋 一至さん/愛知県/
知立市立来迎寺小学校



審査員からのコメント
友達との会話から、メダカの本を読み、「宇宙メダカ」の存在を知りました。宇宙メダカ研究会にいろいろと質問をし、とうとう宇宙メダカを手に入れました。そのいきさつ、喜びを「作文」で表現することは今までのレポートになかったので、大変新鮮でした。
飼育しながら小さなメダカが自分の身を守るために身につけた能力を見つけ「メダカはカメレオン!？」というタイトルで表現したこともすばらしく、野嶋君が宇宙メダカに愛情をもって接している様子がよくわからずばらしい作品です。
体色変化は多くの方が扱っているテーマではあるが、確かな観察をしていることが評価できる。このことは、メダカの図の省略の仕方にもよく現れており、本人が実際に観察している様子が伝わってくる。レポートの形式もまともっており、色素胞についても自分で調べ、ディスカッションも行っていることも評価した。

子供の科学賞

子供の科学賞
「がんばれメダカⅢ 生まれぬメダカ」
林 綾乃さん/千葉県/
八千代市立八千代台東小学校



審査員からのコメント
メダカを観察すればするほど、次々に新たな研究テーマがわいて、それをすぐに実験して確かめる姿勢には脱帽です。実験方法の考案、データのとり方、スケッチの仕方など小学生の自由研究のレベルを大きく超えた充実した内容でした。
このレポートは、3年生の時からメダカを飼い続け、その間にメダカの行動を観察したり、産卵の経験(1尾しか大きくならなかった)をしたりした中で、5年生になった今年こそたくさんの卵を産ませてたくさんの子どもを育てるとの思いで、メダカの産卵に挑戦したときの飼育者の愛情がいっぱい詰まった記録です。卵を産むまでの水温と日数、付着糸のこと、産卵・はんしょく用のメダカのエサの効果、無せい卵と有せい卵のこと、歯や舌を探したときのこと、尾くされ病をなおそうとがんばったことなどが、スケッチや表も使って上手にまとめてあります。
死んでしまったクロメダカがよくなついで「ちょうだい、ちょうだい」とエサをほしがったこと、新しくもらってきたメダカが1か月たってやっと「ちょうだい、ちょうだい」とエサをねだるようになってくれたことも書かれていて、愛情をもってメダカを長く飼っているからこそ観察や実験にもとづく、すばらしいレポートです。

優秀賞

「めだかの赤ちゃん」
鷹橋 古都美さん/東京都/
北区立西ヶ原小学校

審査員からのコメント
受精卵の観察と、卵を孵化させるまでの卵の保存方法について検討を行っています。稚魚の飼育に失敗したことで、稚魚の飼育条件の再検討(餌、水温)を行っているが、ちゃんとした観察が行われており、大いに評価できます。
赤ちゃんを全滅させてしまった経験をバネに、なぜ失敗したのか考え、よく調べて挿絵、見事に成功させたことが素晴らしいです。タイトルや挿絵のデザインもよく工夫されていて、とても見やすくまとめられています。

優秀賞

「メダカのうろこを見よう！」
中村 一葉さん/奈良県/
奈良女子大学附属小学校

審査員からのコメント
このレポートは、メダカのうろこの形や色、数を知りたいと思って、メダカの写真をとり、それをコピーして、うろこ10枚を一つの単位として、色えんぴつで色をぬっていき、全部ぬり終わったときに、使った色えんぴつの本数に10倍してうろこの数を調べたものです。同じものがたくさんあるときに、おぼえやすい数を束(たば)にして、それがいくつあるかで全体の数ををはかるやり方はいろいろなか所で使われる方法です。うろこの数を数えるのにこの方法を使ったところがよいと思います。
できれば、上下前後左右の写真をとって、同じうろこを二度数えないように工夫して、すべてのうろこを正確に数え、さらにその方法で5～6尾やって一尾ごとのうろこの数が違うかどうか、品種や大きさで違いがあるかなどに発展させると、もっとよかったかと思えます。

努力賞

「私のめだかの観察」
加藤 愛佳さん/大阪府/
大阪市立梅香小学校

加藤さんがメダカを初めて見たときから、メダカに愛情を持って育てている様子がよく伝わってきたヨー！メダカのお世話は大変なことあるけど、まだまだ色んな発見がありそうだね～！

努力賞

「メダカのなぜなぜ大研究！」
西田 瑞佳さん/和歌山県/
湯浅町立湯浅小学校

自分が疑問に思ったことを正確によく調べられていたネ！ミジンコを追いかけるときの動きなど教科書や本に載っていないことがよくわかっておもしろかったヨ～！

努力賞

「宇宙メダカ日記」
吉原 健さん/愛媛県/
今治市立立花小学校

オスとメスの割合で産卵数が変わるなんて、おもしろいところに着目したネ！メダカにも人間と同じように好き嫌いがあるんだネ～！

努力賞

「金魚が白くなっちゃった事件簿」
脇坂 真帆さん/福岡県/
北九州市立光貞小学校

難しい内容でも事件簿にするとみんな楽しく読めちゃうネ！これからも脇坂さんの金魚を犯人から守ってあげてネ～！

努力賞

「金魚たまごをうむ!!」
中橋 陽菜さん/京都府/
京都市立山階南小学校

金魚のたまごを本当に観察できていたネ！カビが生えてるなんてビックリしたネ!!無事赤ちゃんが生まれてかわいがってる中橋さんの様子がすごく伝わってきたヨ～！



コンテスト受賞者の賞品はこちら！

	<p>キョーリン大賞 賞状、図書カード10,000円、飼育セット詰め合わせ缶(メダカのエサ・カルキぬき)</p>
	<p>子供の科学賞 賞状、図書カード5,000円、雑誌「子供の科学」1年分</p>
	<p>優秀賞 賞状、図書カード3,000円</p>
	<p>努力賞 賞状、図書カード1,000円</p>

審査員のみなさん 井尻 憲一(東京大学名誉教授、宇宙メダカ研究会名誉会長)
岡本 信明(元 東京海洋大学長)
土田 清身(宇宙メダカ研究会顧問)
和館 建太郎(株)誠文堂新光社 「子供の科学」編集長
神畑 重三(株)キョーリンCEO

メダカと水辺の生き物博士コンテストのテーマとは？

私たちの身近に存在する小さなメダカや水辺の生き物たち。どんな生活をしているの？何を食べているの？テーマは自由。誰も気づかない生き物たちのあれこれを探してみよう！ユーモアあふれる個性的な作品を期待しています。

応募のテーマの対象は

- メダカ
- カメ
- ザリガニ
- キンギョ
- 川魚
- オタマジャクシ
- 水棲昆虫
- プランクトン
- など水辺で生活する様々な生き物たちだよ。

※鳥類、ほ乳類は対象外です。



過去の博士コンテストの受賞作品はこちら！

<p>第5回 メダカ博士コンテスト2014</p>	<p>第4回 メダカ博士コンテスト2013</p>
<p>第3回 メダカ博士コンテスト2012</p>	<p>第2回 メダカ博士コンテスト2011</p>
<p>第1回 メダカ博士コンテスト2010</p>	

メダカと水辺の生き物博士コンテスト2015 夏休み自由研究にチャレンジ!
来年もみんな応募してね!!

まずはメダカを飼ってみよう!
メダカの飼いかたはコチラ

